

dB's XT250-EX2用 ドライカーボンヒートガード

XT250-HG2/HG2-O2取付け取扱い説明書



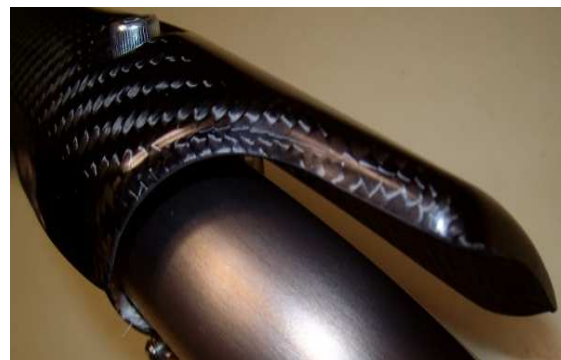
使用後は排気熱によって表面のツヤが若干、変化いたします。
ヒートガード取り付けボルトは、かなり熱くなりますので火傷や衣類の焼けに御注意ください。
ステッカーは車体に貼ってください。

取り付けについて

- 1、火傷を防ぐために、エキパイが冷えている状態で作業をします。
- 2、dBsヒートガードをノーマルワッシャとナットで取り付けます。
- 3、ボルト、ナット類は仮組しておき、最後に締め付けます。
特にカーボンは、きつく締付すぎないように注意して下さい。
- 4、テスト走行後、各ボルト、ナットの緩みを確認し必要な場合は増し締めします。



- 1、取り付けバンドを完全に緩めてエキパイに巻き付けてボルトを仮締めします。
受けナット部分はスライドしますのでお好みの角度、位置にできます。
ガード取り付けボルトは斜下を向きます。



- 2、ヒートガードをバンドにノーマルワッシャ、ノーマルボルトで仮締めします。
ワッシャは裏も表もボルトに通した状態で締め込むと裏ワッシャは取り付けボスに自然にはまります。
エキパイの曲がり部分にヒートガードの端が接触しないように注意してください。



- 3、フレームなどに干渉しない最適な位置で取り付けバンドを固定します。
最後にバンド、ヒートガードを固定します。
この時点でガード取り付けボルトを無理に入れないようにボルトが固い場合はもう一度取り付けバンドの位置決めをします。
エキパイやヒートガードについた指紋や脂分を除去してからエンジンを始動してください。